

広報委員長会議次第

開催日時 令和8年(2026年)2月24日(火)
午前10時00分から
開催場所 市役所7階大会議室

1 3月の広報事項

- (1) 魚介類を食べること等に関するアンケートの集計結果(概要)について
(水産海浜課)
- (2) 小田原市立総合医療センターの開院について
(経営管理課)

2 その他

- (1) 市政への要望事項等について
- (2) 4月の広報委員長会議について

魚介類を食べること等に関するアンケートの集計結果(概要)について

【実施概要】

目的 : 「小田原の魚ブランド化・もっと食べようプロジェクト」をさらに推進する上で、市民の魚介類を食べること等に関する認識や動向を把握するため。

実施期間 : 令和7年9月2日～令和7年10月3日

調査対象者 : 市内在住の15歳以上の個人(一世帯につき一人)

依頼人数 : 1,245名

依頼方法 : 市内249地区自治会から選出された広報委員を通じ、各地区5名の住民に配布

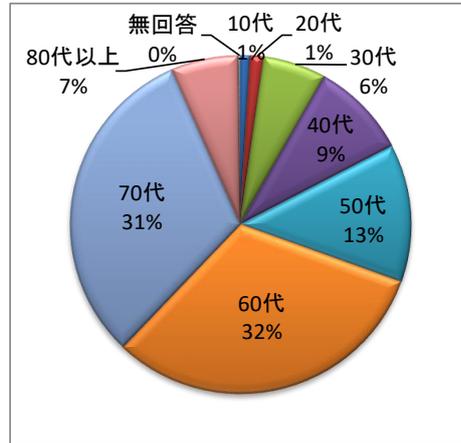
回答人数 : 1,003名(用紙による回答 725名、Webによる回答 278名)
 (男性 574名(57%)、女性 421名(42%)、無回答 8名(1%))

回答率 : 81%

【回答(抜粋)】

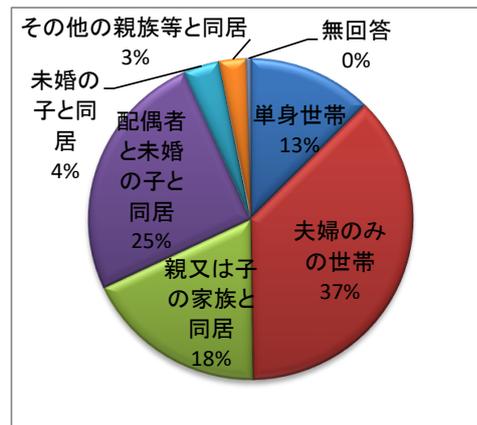
問1 年代

1	10代	9人
2	20代	13人
3	30代	60人
4	40代	92人
5	50代	132人
6	60代	317人
7	70代	314人
8	80代以上	64人
	無回答	2人



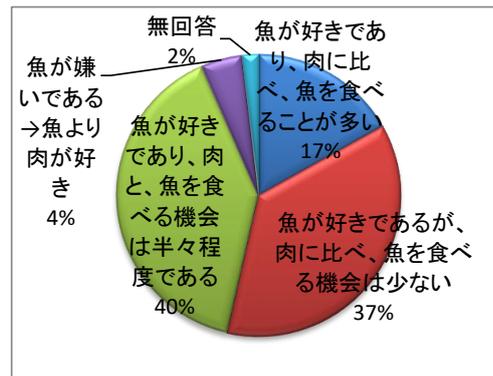
問2 世帯構成

1	単身世帯	125人
2	夫婦のみの世帯	374人
3	親又は子の家族と同居	183人
4	配偶者と未婚の子と同居	254人
5	未婚の子と同居	36人
6	その他の親族等と同居	27人
	無回答	4人

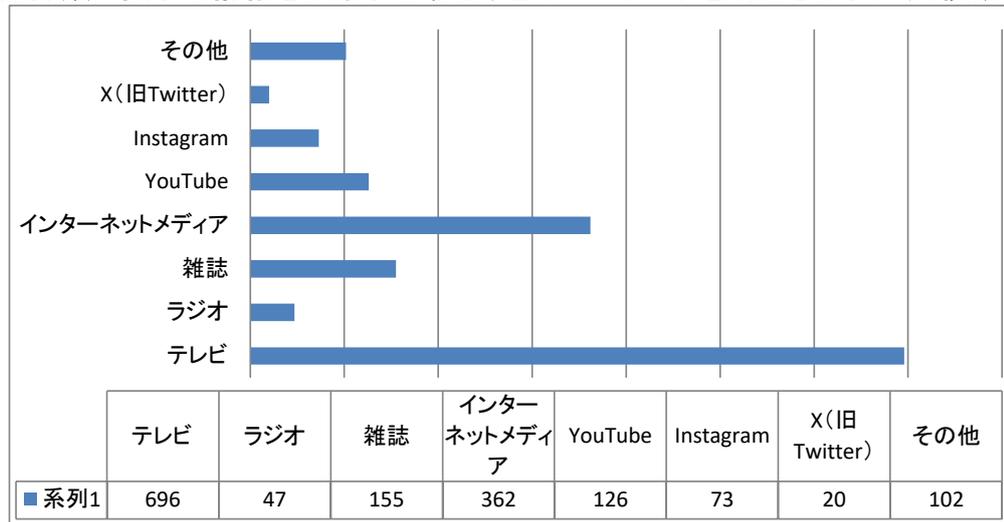


問3 世帯の魚介類に対する志向性はいかがですか。

1	魚が好きであり、肉に比べ、魚を食べることが多い	169人
2	魚が好きであるが、肉に比べ、魚を食べる機会は少ない	368人
3	魚が好きであり、肉と、魚を食べる機会は半々程度である	400人
4	魚が嫌いである→魚より肉が好き	47人
	無回答	19人



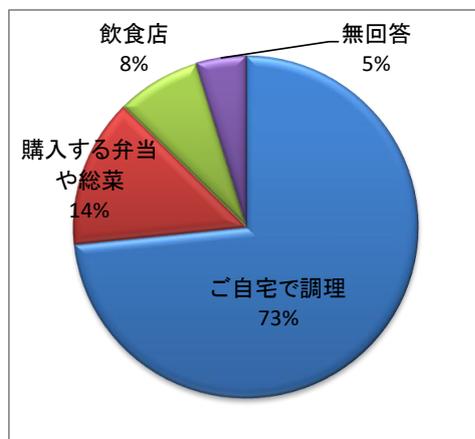
問4 魚介類に関する情報を収集する場合、どのコンテンツを利用しますか。(複数回答可)



〈その他〉
 スーパーマーケット等の店 31、チラシ 17、魚屋 16、新聞 14、
 利用しない 13、友人・知人 3、スマートフォンのアプリ 2
 (以下、各1) Tiktok、Facebook、家族、口コミ、魚市場、釣り

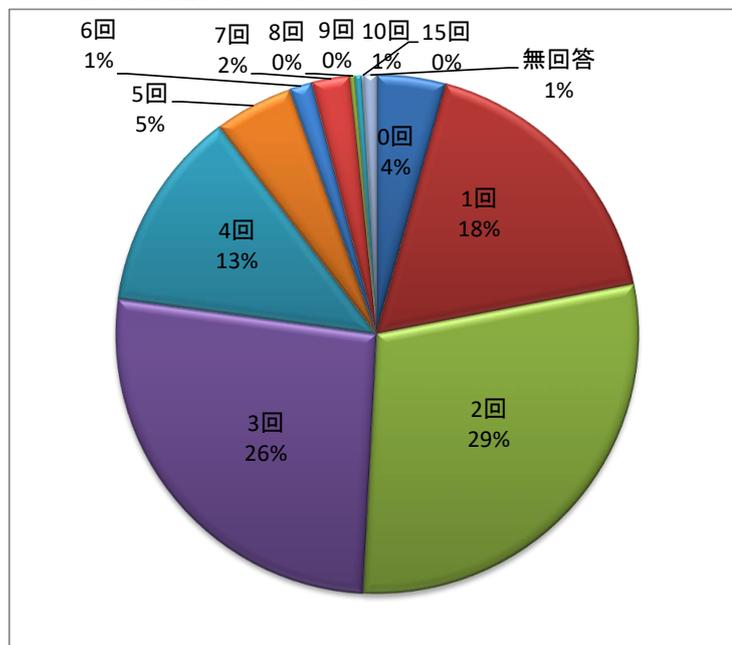
問5 どのような食事で魚介類を食べることが多いですか。

1	ご自宅で料理	736人
2	購入する弁当や惣菜	141人
3	飲食店	79人
	無回答	47人

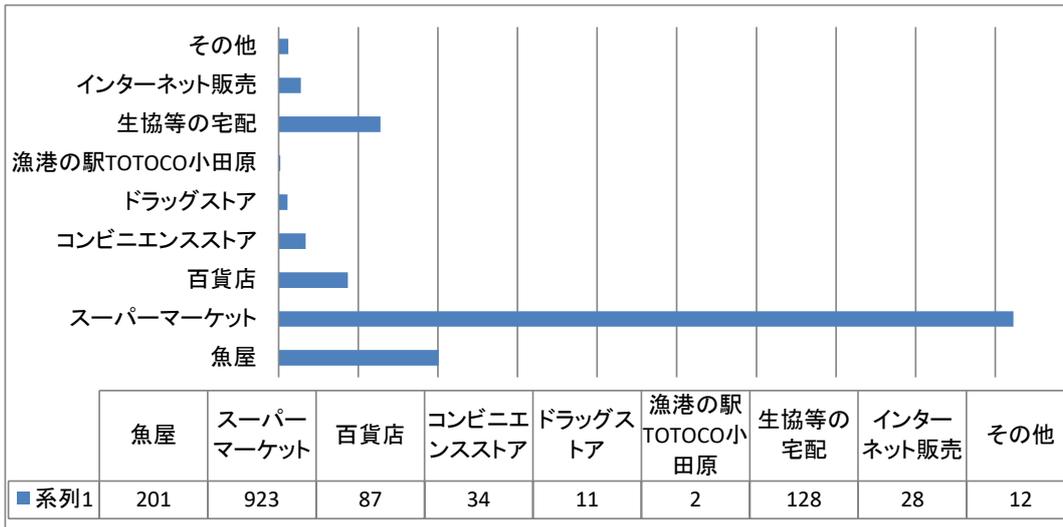


問6 一週間に何回程度、ご自宅で魚介類を食べますか。

0回	43
1回	177
2回	290
3回	264
4回	126
5回	49
6回	14
7回	24
8回	3
9回	0
10回	4
15回	1
無回答	8



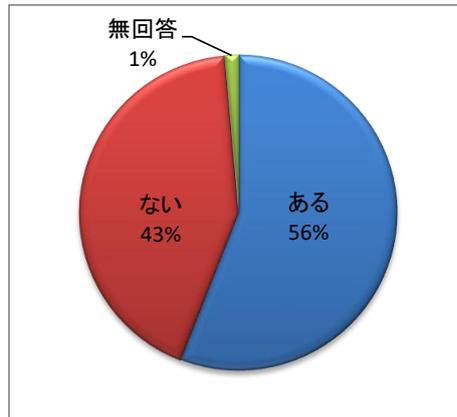
問7 普段、どのようなお店で魚介類を買うことが多いですか。(複数回答可)



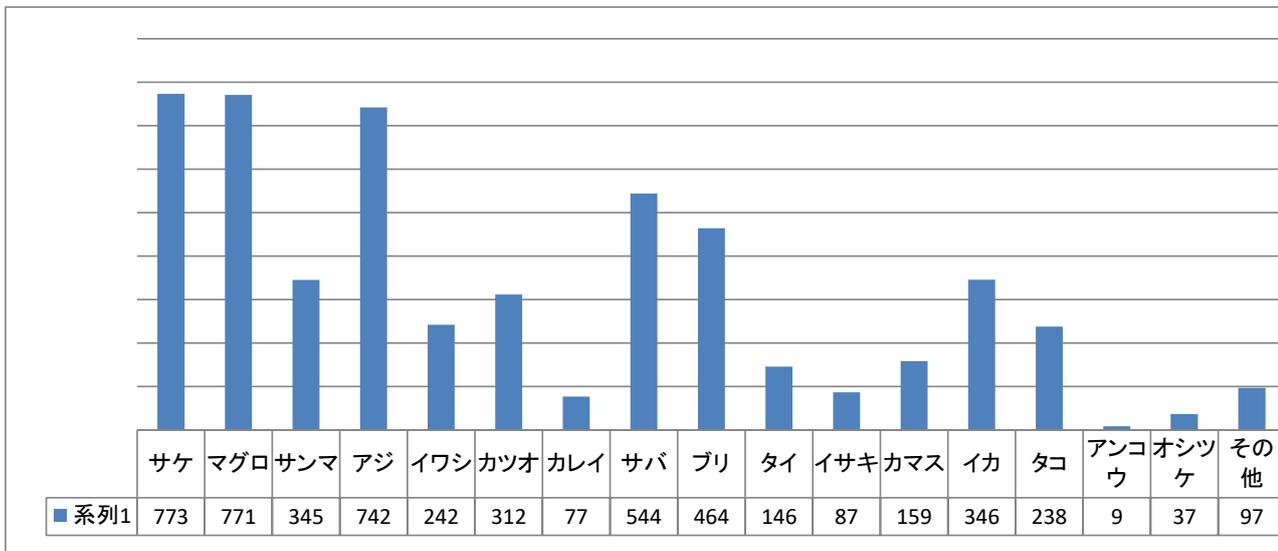
〈その他〉
干物店 5、自分で釣る 4、(以下、各1) かまぼこ店、朝ドレファーム、移動販売

問8 「漁港の駅TOTO小田原」を訪れたことはありますか。

1	ある	561人
2	ない	428人
	無回答	14人

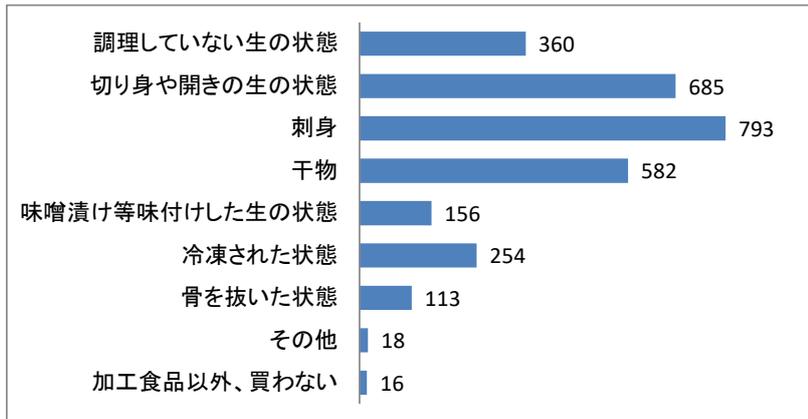


問9 どのような魚介類を買うことが多いですか。(複数回答可)



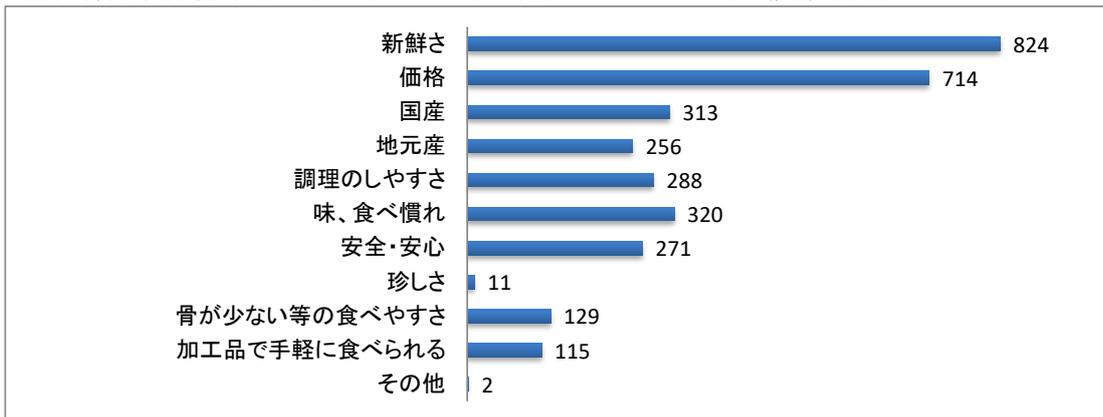
〈その他〉
ホッケ 13、シラス 10、エビ 9、キンメダイ 8、タチウオ 4、タラ 4、ウナギ 3、カジキ 3、ホウボウ 3、メカジキ 3、アサリ 2、シジミ 2、シシャモ 2、スミヤキ 2、ホタテ 2、ムツ 2
(以下、各1) アカウオ、イルカ、カニ、カンパチ、キビナゴ、ギンダラ、クジラ、シイラ、ジャコ、パンガシウス、ヒジキ、ヒラメ、ボラ、マンボウ、モウカザメ、ワカサギ、ワカメ

問10 どのような状態の魚介類を買うことが多いですか。(複数回答可)



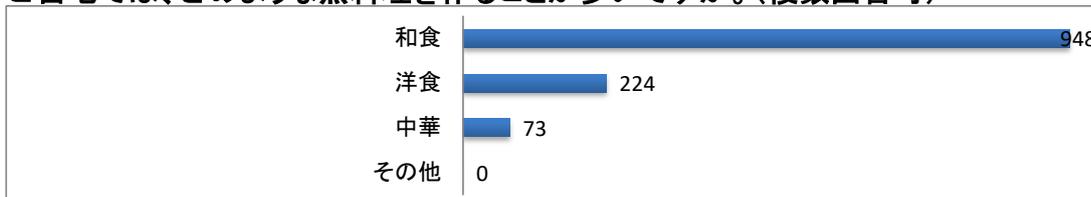
〈その他〉
缶詰 7、調理してパックされた状態 4、練り製品 3、(以下、各1) フライ、焼き魚、寿司、弁当

問11 魚介類を買う際、どのようなポイントで選んでいますか。(複数回答可)



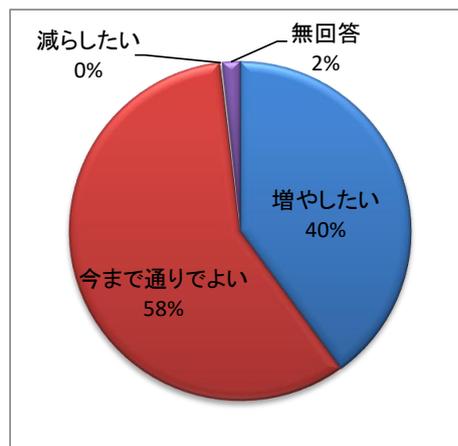
〈その他〉
旬 1、気分 1

問12 ご自宅では、どのような魚料理を作ることが多いですか。(複数回答可)

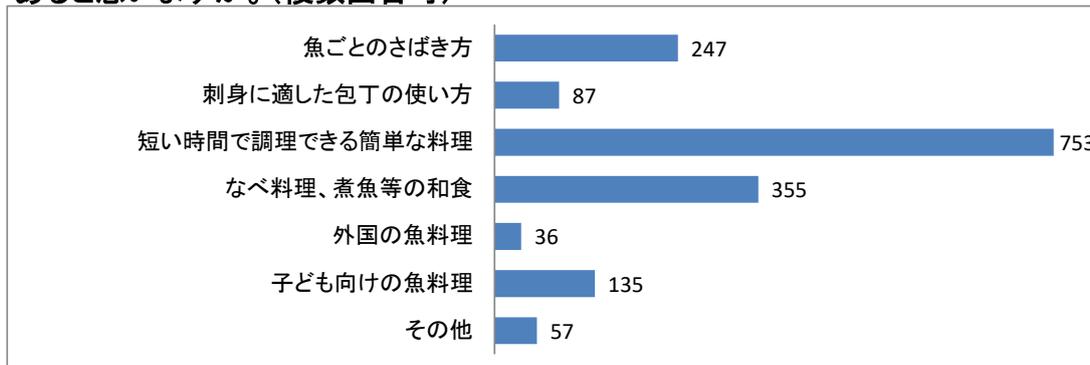


問13 今後、魚介類を食べる機会を増やしたいと思いますか。

1	増やしたい	401人
2	今まで通りでよい	583人
3	減らしたい	2人
	無回答	17人

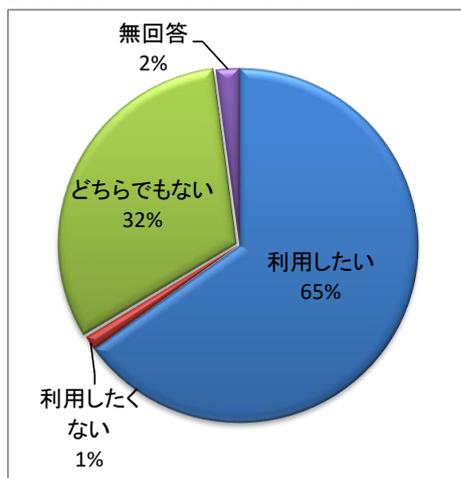


問14 ご自宅で魚介類を食べる機会を増やしていただくためには、どのような情報が必要であると思いますか。(複数回答可)



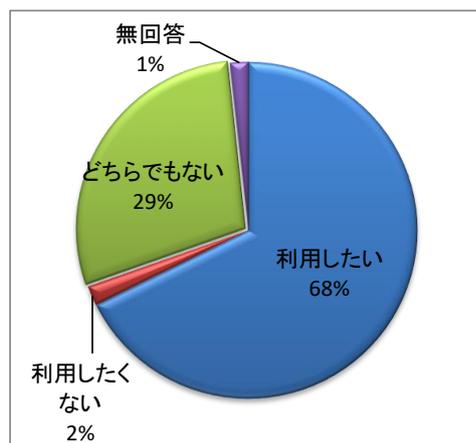
問15 地魚を積極的に取り扱う小売店を利用したいと思いますか。

1	利用したい	653人
2	利用したくない	13人
3	どちらでもない	316人
	無回答	21人

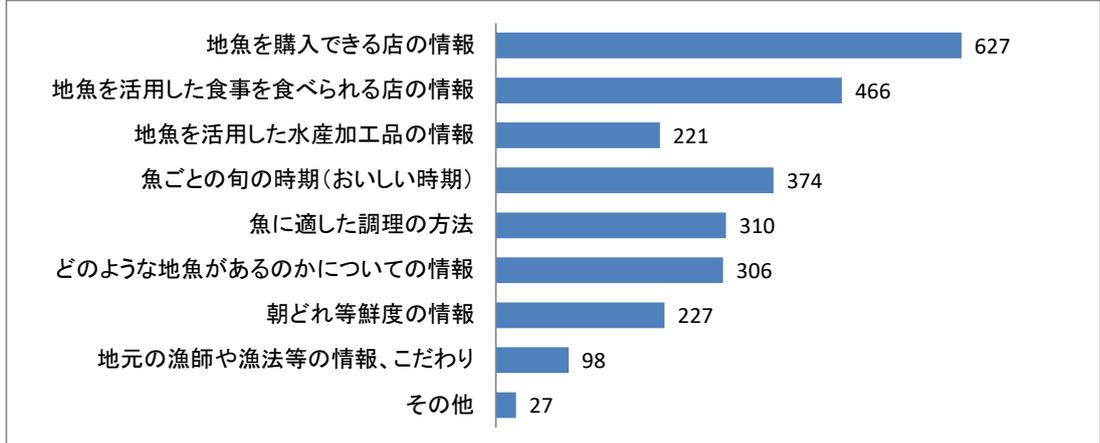


問16 地魚を食材として活用する飲食店を利用したいと思いますか。

1	利用したい	679人
2	利用したくない	19人
3	どちらでもない	288人
	無回答	17人



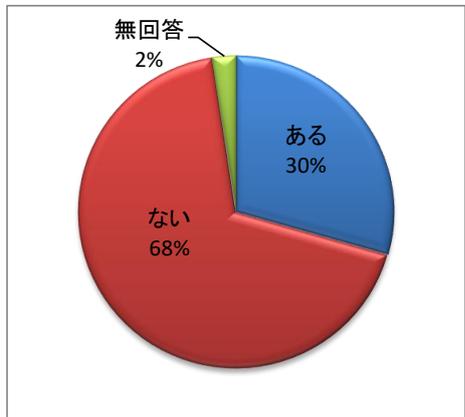
問17 地魚を購入するためには、どのような情報不足していると思いますか。(複数回答可)



〈その他〉	
価格に関する情報	
気軽に買える立ち寄りやすい店の情報	
少量を買える店の情報	
スーパーマーケット等大型店でキャンペーンやプロモーションの情報	
包丁の研ぎ方や使い方	
魚のさばき方やレシピ	

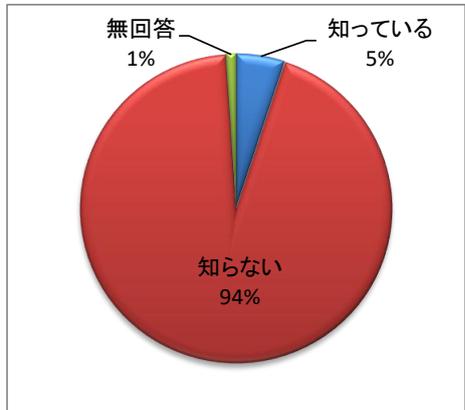
問18 「小田原の地魚愛用店」を利用されたことはありますか。

1	ある	295人
2	ない	684人
	無回答	24人



問19 「小田原城前魚(おだわらしろまえざかな)」をご存じですか。

1	知っている	51人
2	知らない	942人
	無回答	10人



広報委員長会議資料2
令和8年(2026年)2月24日
経営管理課
0465-34-3175

小田原市立総合医療センター 2026年5月4日 開院

5月4日(月) 入院患者 移送
5月7日(木) 外来診療 開始

写真:七ロ・フォトビルディング/石橋敏弘

目指す姿

患者に信頼される病院

- ・ 療養環境の向上による患者中心の医療の展開 -----P6
- ・ 救急・小児・周産期医療の確保
- ・ ヘリポートや免震構造等の災害機能の強化 -----P3
- ・ 化学療法・がんゲノム医療などのがん医療の提供 -----P5

急性期医療を担う病院

- ・ 救命救急センターの充実 -----P2
- ・ 重症患者の治療と早期回復 -----P4
- ・ 遠隔 I C U の設置 -----P2
- ・ 重症病床や手術室の充実 -----P5

地域医療連携の強化

- ・ 地域完結型医療の実現
-----P2 P5
- ・ 医師派遣による地域医療の支援
- ・ 地域医療機関との連携強化

病院の特徴① 救命救急の充実



ハイブリッドER (イメージ)



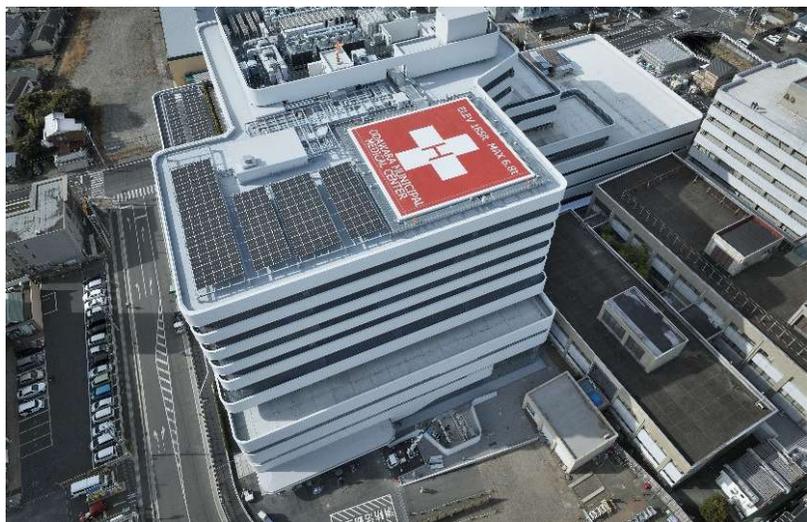
ICU (工事中)

- **県西二次保健医療圏唯一の救命救急センター**として、24 時間 365 日受入を行い、安定的で質の高い救急医療を提供します。
- 救命救急センターに配置した**ハイブリッドER**は、従来の**救急治療室 (ER)**の機能に加えて、**CT撮影と血管造影検査を同時に行える高度な医療設備**を備え、重症患者の救命率の向上を図ります。
- **ICUを16床**とし、昭和医科大学病院から支援を受けている**eICU**のシステムをそのすべてに備えることで、重症患者の監視の充実を図ります。

病院の特徴② 災害機能の強化



免震構造：積層ゴム



ヘリポート（工事中）

- 新病院は、大地震発災後も継続して診療が行えるよう**高性能な免震構造**としています。
- **屋上にヘリポートが設置**されることにより、災害時において陸路が寸断された状況下でも、迅速に患者さんを搬送することができます。
- **井水処理施設を新設**し、万が一の給水断絶時でも井水を上水として使用することで医療活動に必要な水量を十分確保できるため、途切れることなく医療の提供が可能です。

病院の特徴③ 低侵襲医療による早期回復



手術室（工事中）



ダヴィンチ（イメージ）

- 手術室を8室から**10室に増室し、各室も広くなります。**また、**1室を日帰り用、もう1室をハイブリッド手術室として整備し、オペレーションの向上を図ります。**
- また、心臓カテーテル治療や、血管内治療を行う**血管撮影装置を強化**したほか、外科手術では、腹腔鏡手術に加え、**手術支援ロボット「ダヴィンチXi」**での手術を行います。術後の痛みが少ない低侵襲手術により、患者さんの負担を軽減するとともに安全で高度な医療を提供します。

病院の特徴④ がん医療の提供



リニアック (イメージ)



PET-CT (イメージ)

- 化学療法、放射線治療、手術などのがん診療の専門的な医療を提供するとともに、それらの機能を充実させることで**地域がん診療連携拠点病院**として地域におけるがん治療の中核としての役割を果たします。
- **化学療法室**を9床から**15床に増床**したほか、**リニアック、PET-CTの新機器を導入**し、患者さんの負担を軽減しつつ治療効果を高める治療を目指します。
- 2025年には**県西地域唯一のがんゲノム医療連携病院**となり、神奈川県立がんセンターと連携をしながらがんゲノム医療を推進します。

病院の特徴⑤ 療養環境の向上



有料4床室（イメージ）



スタッフステーションと病室

- **病室を4床室と個室で構成し、約36%を個室**としました。また、4床室の1床あたりの平均的なスペースは6.8㎡から9.6㎡に拡大しています。
- 各病室にトイレや洗面を配置し、プライバシーの確保、転倒リスクの低減といった**安全性と快適性の向上**を図りました。
- スタッフステーションを中心に病室を配置する**病棟形態**により、すべての病室の観察やアプローチを容易にし、患者さんを確実に看護していきます。

施設概要

建物名称：小田原市立総合医療センター

所在地：神奈川県小田原市久野46番地

診療科：内科、腎臓内科、糖尿病内分泌内科、
精神科、脳神経内科、呼吸器内科、
消化器内科、循環器内科、小児科、外科、
整形外科、形成外科、脳神経外科、
呼吸器外科、消化器外科、心臓血管外科、
皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、
耳鼻咽喉科、頭頸部外科、
リハビリテーション科、放射線診断科、
放射線治療科、病理診断科、救急科、
麻酔科、緩和ケア外科、歯科口腔外科

設計：竹中工務店・内藤建築事務所
設計共同企業体

監理：株式会社内藤建築事務所 東京事務所

工事施工：株式会社竹中工務店 横浜支店

CM：株式会社山下PMC

工期：2023年12月28日から2026年2月24日まで

敷地面積：23,021.60㎡

延べ面積：42,234.16㎡

構造：鉄骨造、免震構造

階数：地上9階 塔屋2階

建物高さ：49.86m

病床数：406床

設備概要：

受電方式 / 3Φ6.6 kV高圧2回線受電（本線、予備線）
空調方式 / 外気処理空調機 空冷・水冷ヒートポンプエアコン
消火設備 / 連結送水管設備、スプリンクラー消火設備、
窒素ガス消火設備、厨房用簡易自動消火設備
医療ガス設備 / 酸素、吸引、圧縮空気、窒素、二酸化炭素、
余剰排気ガス設備
搬送設備 / 昇降機、エスカレータ設備、大口経気送管設備

認証等：ZEB Ready（ゼブレディ）・・・P9

フロア概要

各階の概要	
RF	ヘリポート
9F ～ 7F	一般病棟
6F	一般病棟・産科病棟・小児病棟・分娩室・LDR・NICU・GCU
5F	化学療法室・透析室・リハビリテーション室・講堂・管理部門
4F	食堂スペース・機械室・サーバ室・医局
3F	手術室・ICU・HCU・救急病棟・ME室・中央材料室・病理
2F	外来部門・内視鏡室・検査部門・栄養相談室・薬剤科
1F	総合案内・患者総合サポートセンター・救急外来（ER）・放射線科・アンギオ室・MRI・RI・リニアック・霊安室



小田原市立総合医療センターについて

病院の特徴 ⑥ZEB Ready (ゼブレディ)

省エネ・創エネ技術で環境に配慮

当センターでは、50%以上の省エネを達成する「ZEB Ready (ゼブレディ)」の認証を取得しました。

省エネ計算上の標準的な病院と比較し、**一次エネルギーの年間消費量は57%削減**されることになり、**延べ面積20,000m²を超える大型総合病院においては、全国で最高値**です。(2024年8月時点)

※ZEBとは

Net Zero Energy Buildingの略称で、快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物のこと。

